



平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月5日

上場会社名 株式会社 薬王堂 上場取引所 東
 コード番号 3385 URL http://www.yakuodo.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西郷 辰弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 小笠原 康浩 (TEL) 019-697-8480
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	46,449	—	2,092	—	2,278	—	1,608	—
30年2月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 1,609百万円(—%) 30年2月期第2四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	81.50	—
30年2月期第2四半期	—	—

(注) 平成31年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年2月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	40,744	18,127	44.5
30年2月期	—	—	—

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 18,127百万円 30年2月期 一百万円

(注) 平成31年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成30年2月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	20.00	20.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—
31年2月期(予想)	—	—	—	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	—	3,780	—	4,110	—	2,940	—	148.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成31年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	19,741,200株	30年2月期	19,741,200株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	975株	30年2月期	975株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	19,740,225株	30年2月期2Q	19,740,225株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、当社は平成30年4月24日にマーケティング事業等を行う子会社「Medica株式会社」を新規設立したことにより、平成31年2月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. その他	9
(1) 仕入及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成30年4月24日にマーケティング事業等を行う子会社「Medica株式会社」を新規設立いたしました。

これにより、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較については記載しておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調で推移したものの、米国の通商政策による貿易摩擦や地政学リスクが懸念され、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループの営業基盤であります東北地方においては、企業収益や雇用環境に持ち直しの動きがあるものの、個人消費については節約志向が続いており、依然として厳しい経営環境となりました。

このような状況の中、当社グループは、販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、ドラッグストアを岩手県5店舗、青森県5店舗、秋田県2店舗、宮城県3店舗、山形県3店舗、福島県2店舗の合計20店舗を新規出店いたしました。また、岩手県の100円ショップを退店し、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は258店舗（うち調剤併設型3店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は464億4千9百万円、営業利益は20億9千2百万円、経常利益は22億7千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億8百万円となりました。

(参考) 前第2四半期累計期間の個別業績と比較した場合の増減率は、売上高11.3%増、営業利益9.7%増となります。前期にあった受取補償金2億5千3百万円の反動により、経常利益1.0%減、四半期純利益2.5%増となります。

なお、当社グループはドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいためセグメント情報の記載を省略しております。主要なドラッグストア事業における部門別の業績は次のとおりです。

① ヘルス

医薬品は健康食品、花粉症関連商品等が伸張し、衛生用品では介護用紙おむつ、マスク等が伸張いたしました。調剤も堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比7.0%増加し、99億3千3百万円となりました。

② ビューティ

化粧品は基礎化粧品等が伸張し、トイレタリーではオーラルケア、ボディソープ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比8.7%増加し、77億3千8百万円となりました。

③ ホーム

日用品は衣料洗剤や家庭紙等が伸張し、衣料品では軽衣料、靴下等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比12.0%増加し、91億6千5百万円となりました。

④ フード

食品は飲料、菓子、日配品等が伸張し、酒類ではビール類や酎ハイ等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比14.2%増加し、195億9千4百万円となりました。

(注) 第1四半期連結会計期間から、前事業年度において「コンビニエンスケア」部門に分類しておりました「食品」「酒」について、「フード」部門として記載する方法に変更しております。なお、その他の「コンビニエンスケア」部門については、「ホーム」部門に組替えて記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、407億4千4百万円となりました。

流動資産は171億5千9百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金17億7千4百万円、商品130億1千3百万円等であります。

固定資産は235億8千5百万円となりました。主な内訳は、建物及び構築物166億2千7百万円、投資その他の資産41億9千万円等であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、226億1千7百万円となりました。

流動負債は177億8千万円となりました。主な内訳は、買掛金117億8千万円、1年内返済予定の長期借入金21億7千6百万円、未払法人税等8億9百万円等であります。

固定負債は48億3千7百万円となりました。主な内訳は、長期借入金35億6千2百万円、資産除去債務10億5千6百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、181億2千7百万円となりました。

主な内訳は、資本金10億8千万円、資本剰余金13億3千1百万円、利益剰余金157億1千5百万円等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、17億7千4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローとそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は38億9千2百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が22億7千8百万円となったことや仕入債務の増加が30億6千3百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は33億9千4百万円となりました。これは、主に新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が27億3百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は4千2百万円となりました。これは、長期借入れによる収入が15億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が11億4千4百万円あったことや配当金の支払額が3億9千4百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、現時点において平成30年4月5日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,774
売掛金	487
商品	13,013
その他	1,883
貸倒引当金	△0
流動資産合計	17,159
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	16,627
土地	686
その他(純額)	1,713
有形固定資産合計	19,027
無形固定資産	366
投資その他の資産	4,190
固定資産合計	23,585
資産合計	40,744
負債の部	
流動負債	
買掛金	11,780
1年内返済予定の長期借入金	2,176
未払法人税等	809
賞与引当金	482
ポイント引当金	333
店舗閉鎖損失引当金	68
その他	2,130
流動負債合計	17,780
固定負債	
長期借入金	3,562
資産除去債務	1,056
その他	217
固定負債合計	4,837
負債合計	22,617
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,080
資本剰余金	1,331
利益剰余金	15,715
自己株式	△0
株主資本合計	18,126
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	1
その他の包括利益累計額合計	1
純資産合計	18,127
負債純資産合計	40,744

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	46,449
売上原価	35,701
売上総利益	10,747
販売費及び一般管理費	8,655
営業利益	2,092
営業外収益	
受取利息	12
受取事務手数料	66
固定資産受贈益	43
その他	71
営業外収益合計	193
営業外費用	
支払利息	7
その他	0
営業外費用合計	7
経常利益	2,278
税金等調整前四半期純利益	2,278
法人税、住民税及び事業税	727
法人税等調整額	△57
法人税等合計	669
四半期純利益	1,608
非支配株主に帰属する四半期純利益	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,608

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	1,608
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	0
その他の包括利益合計	0
四半期包括利益	1,609
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,609
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	
当第2四半期連結累計期間	
(自 平成30年3月1日	
至 平成30年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,278
減価償却費	923
賞与引当金の増減額(△は減少)	87
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△3
ポイント引当金の増減額(△は減少)	46
受取利息及び受取配当金	△12
支払利息	7
売上債権の増減額(△は増加)	△156
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,568
未収入金の増減額(△は増加)	△195
仕入債務の増減額(△は減少)	3,063
未払金の増減額(△は減少)	210
未払消費税等の増減額(△は減少)	△178
その他	59
小計	4,563
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△7
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△664
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,892
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△400
有形固定資産の取得による支出	△2,703
無形固定資産の取得による支出	△151
敷金及び保証金の差入による支出	△113
その他	△24
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,500
長期借入金の返済による支出	△1,144
リース債務の返済による支出	△2
配当金の支払額	△394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△42
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	456
現金及び現金同等物の期首残高	1,318
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,774

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において「Medica株式会社」を新規設立したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

3. その他

(1) 仕入及び販売の状況

当社グループは、ドラッグストア事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいことから、ドラッグストア事業における部門別及び地域別の仕入及び販売の状況を記載しております。

① 仕入実績

当第2四半期連結累計期間における部門別仕入実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	平成30年2月期第2四半期 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)		平成31年2月期第2四半期 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	6,531	19.8	6,918	18.6	+5.9
ビューティ	5,453	16.5	5,868	15.8	+7.6
ホーム	6,766	20.5	7,952	21.3	+17.5
フード	14,274	43.2	16,486	44.3	+15.5
合計	33,025	100.0	37,226	100.0	+12.7

(注) 第1四半期連結会計期間から、前事業年度において「コンビニエンスケア」部門に分類しておりました「食品」「酒」について、「フード」部門として記載する方法に変更しております。なお、その他の「コンビニエンスケア」部門については、「ホーム」部門に組替えて記載しております。

② 販売実績

イ. 部門別販売実績

当第2四半期連結累計期間における部門別販売実績を示すと、次のとおりであります。

部門別	平成30年2月期第2四半期 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)		平成31年2月期第2四半期 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ヘルス	9,283	22.2	9,933	21.4	+7.0
ビューティ	7,120	17.1	7,738	16.7	+8.7
ホーム	8,181	19.6	9,165	19.7	+12.0
フード	17,151	41.1	19,594	42.2	+14.2
合計	41,737	100.0	46,431	100.0	+11.2

(注) 第1四半期連結会計期間から、前事業年度において「コンビニエンスケア」部門に分類しておりました「食品」「酒」について、「フード」部門として記載する方法に変更しております。なお、その他の「コンビニエンスケア」部門については、「ホーム」部門に組替えて記載しております。

ロ. 地域別販売実績

当第2四半期連結累計期間における地域別販売実績を示すと、次のとおりであります。

地域別	平成30年2月期第2四半期 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)		平成31年2月期第2四半期 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)		前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
青森県	5,025	12.0	5,936	12.8	+18.1
秋田県	4,824	11.6	5,531	11.9	+14.7
岩手県	17,472	41.9	18,748	40.4	+7.3
宮城県	11,158	26.7	11,953	25.7	+7.1
山形県	3,256	7.8	4,046	8.7	+24.2
福島県	—	—	214	0.5	—
合計	41,737	100.0	46,431	100.0	+11.2